
お前アホやろ??俺アホだよ

きょん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お前アホやろ??俺アホだよ

〔二二〕

N
6
2
3
2
A

【作者名】

れ
ん

[めぐらし]

第一話・俺と彼女との出会いがストレスによって邪魔されました。

窓から日差しが差し込む。…………ん、朝か。

学校行かんとなー。

いつも通りに飯食つて身支度して学校へ。

おっしゃあアアアアン…………今日も頑張るで…………
と意氣込み勢いよく扉を開ける俺。

うつやーん授業してんやん！？

「くわら坂口…………遅刻とは何事…………？？」

あ、俺は坂口恭平ね、うん。

「教師歴7年で女の子には優しく独身貴族で俺はあんまり好きじや
ない先生おはよーござりますーーー！」

「長ひーしかも、何気に批判されてるーーー！」

「いや、そんな事ないですよ。」

「毎日遅刻しやがつてやる気ないのか。…………？」

「いや、そんな事ないですよ。」

「それしか言えないのか……。」

「いや、そんな事ないですよ。」

「馬鹿にさがって……。」

「いや、そんな事ないですよ。」

.....。

「お前彼女いるの?/?」

「こや、そんな事ないですよ。」

「あ、バレちゃったよ……アホ教師め……キーンローンカンロー
ン……」

「うじつ休みや。」

「お～い坂口、今日も遅刻して余裕だなーー。」

「あ、同じクラスで親友の直樹君ではないか。ん？？余裕つて何が
？？？」

「いや、明日期末テストよ」

「な、何い！？？」

余りの急な展開に俺はハスキーな声で答える。

……「」めん。嘘。ハスキーな声なんて出せない。

「あ、放課後教えてあげるけど？？」

「え、あ、まじで？？」

こうして放課後勉強する事になっちゃたよ。
さすがテスト前日だけあって居残つて勉強してるやつ多いな。皆す
ゞこ、きやつ（きやつ？？）

「ちょい悪いが図書室に参考書取りに行くから」の問題やつとか

「あいよ

……飽きたな。

携帯ゲームでもしどう。ふふふ、全国9位の実力を思いしねえ
つひゅあ！――！――（トトリスト

「 わせつ」

……何か今きもつて言われた。気にしない、うん。（泣きながら）

いや、マジで遅いよアイツ。あ、四段消し成功（トトリスト

その時、一人の女の子が俺の前を通りすぎた。

ズッキーン

う、撃たれた。コシヒカリ！――

違う、ひとめぼれつ！！

「あ、あのつ！・！」

俺は気が付けば話かけていた

「はい? なんでしょうか? ?

その時、携帯がチカチカ光っていたから俺は携帯を覗いた。

しまつた

その時ちょうど直樹が帰ってきた

「あれ、坂口その子誰？？」

「ハセハニ黙れ!!」ジノ「めハ...-.-.-.-.-」

「いきなり向かって！？？」

俺はその場を立ち去るように直樹を引き連れて立ち去つた。
そして、全てを直樹に話してみた。

「ハハセニダ——！——！」

「ダニまでランクダウン！？？」

俺は気分が悪いから帰宅した。

夜、携帯を見たらメールが入ってた。

語たが語たが
支の三がた
うひ

「やつぱり俺はダメじゃないと思つ。」

なんかちょっとムカついたから、もう寝よう。

第一話・餅とパンが遅刻をもたらしがつた……（途中、解説が時々で断続）

「んあ……朝か。

俺はリビングに降りる。

「米がいい？？パンがいい？？」

「46歳AB型の俺の母さん、今日は米がいいな。」

「何よその言い方？？」

「改まって読者さんに説明するのめんどくさいからね

。……。

「俺そりで寝るからできたり起らしてや～

「ほひ、やあたわよーー。」

俺はダルい体を起こして机に座る。

……あの、何で朝ご飯が餅なワケ！？？？？

米は米でも、もち米でした ってか！？？？？
クソババアめ！！！！

「あの餅なんだけど間違いだよね？？？」

「米は米でも、もち米でした 」

「ひゃい

とつあえず、今田はテストだし遅刻厳禁なんで俺は餅食つて出発した。

…… 6月なのに餅で。

行き道に金髪の天然パーマでP CO（某衣服メーカー）の半袖ハーフパンツを着用している不良が原付で通りすぎた。（ちなみに俺は自転車）

九四

P
Kの世界でたぬ!!

金員を決めてNカムす。丁度立

うお、PKOが戻ってきた。
ま、まさか独り言が聞かれたか！？

と思つたら通りすぎた。

また俺を追い越した

もうワケわからんよ。

とりあえず、道を進んでいくと道の真ん中には KOGATA がたたずんでいた。

「うわあ……邪魔だよ、

そつ思つた俺は避けるように端へ移動してP-KOを通すがよつとした。（もう「マイシの名前P-KOでいいや）

ええ、じつちに寄つてきた

（気味悪いから）逃げよつか迷つたけど相手原付だしね。

「おこ、お前昨日会つたよな？？？？」

は？！

いや、待て何言い出すのこの人……。違う、このP-KOめ。昨日（第一話）は、放課後学校にいたつての……。

あ、あの可愛い子どのクラスなんだる……つて今はそんな事考えちゃダメだつ。

「いや、誰？？」

「はあ？？昨日コンビニの前で会つたよな～？？」

「金かせや！――！」

カツアゲかよ

ちょ、何そのカツアゲの仕方……。お前明らかにカツアゲ初心者だ
ろ！――！――！

ふつふつふ。俺にはわかるぜ！――！

いや、俺も初心者なんだけどね。

「いや、意味分からん（お前のファッショングラス含めて）」

「はあ！？会つたよな～？？」

「いや、会つてない。誰？？」

P K0は言語能力が乏しいのか、この質問を後5回ほどしてきた。

「何でもいいから金よこせや」

俺との知り合い設定諦めた

そう言った彼は……いや、P君は俺の財布が入っているポケットに手を伸ばす。

が俺は、とつさの反応でアキの手を叩き落とした。

「チッ！！！」

彼は…P Kのはそう言うと何処かへ逃げ去つた。

弱。

何だつたんだ……つてうええつあいつけ？？！
もつテスツ始まつてる時間やん。いやんばかん。

俺は遅れて教室に入る。

試験管から答案用紙を受けとり問題を時始める。

.....。

ブーンブーンブーンブーン。

何か携帯のバイブ鳴つてるがな、この忙しい時に誰やねん？。

あ、直樹だ。てか、テスト中だろウザす。

「問1の答えはね.....」

教えてあげないよーん」

お前は子供かよ。

俺も負けじと返信した(てか、テスト中だろ俺)

「やつぱつお前はダードと思ひや。」

あ、直樹が俺のメール見て泣いてるつ。

それではまた次回つ

第二話…巴は愛でて語ったの…?…語りなごむね?…!

今日直樹は休んだ。

暇だな、どうしようかな~うん。机に花瓶と花を飾つておいてやうう。ぐえへへつ(笑い方怖つ

「おーい坂口~!~!~!~!~!

声がしたほうへ振り替える。

「なんだAか。」

「俺の名前Aなの!~!~!~!

「今回だけのキャラだからね。」

「それよかBがカセットウォークマン買つたでや~!~!~!

「時代古つ」

てか、AとかBとか臨時キャラ多すぎだな。

今度固定キャラでも作りつつと。

そんな事を考えながらBの元へ向かった。

俺は驚いた。

Bが力セツトウォーカマン聞きながら踊つてゐる…教室で。

ちょっと氣持悪かった。

てか、何の音楽聞いたら踊るまでノれるんだよ。

「よつ…！…B…！…めつちやノリノリやんか。何聞いてるん？？」

「ん？？孔子の教え。」

音楽じやなかつた…！…

「あ、あつそのの。素敵なダンスね。」

「それよか、坂口聞いてくれよ。」

「ん？？どうした？」

「俺さ、孔子の教えを聞いて悟ってしまった。」

「何を？？」

「愛について。」

えええええ？？？！！

ちょ待つた。

孔子つて儒教を説いた人だよね？？

儒教で愛について語ったものだっけ！！？？

「あのな……」

Bは別に聞きたくもないのに語りだした。

「彼女といふのは、お人形さんのようにただ可愛がるだけだとダメなんだ……相手を思い思ひ遣られる事によって恋愛から愛にかかる……。」

Bは満足気な顔だった。

そして俺はお前に言いたい…………。

「あのや、お前……

「彼女いねえじやん……ふふふ。」
つて。
いや、俺もいないけど。
また次回つ――！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6232a/>

お前アホやろ??俺アホだよ

2010年10月28日08時54分発行